

## 『によういぼうダンス！』ほし組 1月 富雄南こども園



### エピソード

そんごくう（表現遊び）の話に出てくる如意棒をつくりたいという思いから始まった如意棒づくり。完成したことが嬉しくて、そんごくうになりきって遊ぶ姿がありました。

子どもたちが行事等で経験し大好きな曲をBGMとして鳴らしたことがきっかけとなり、「今の（みんながみんな英雄）この曲をもう一回鳴らしてほしい」とデッキに耳を傾けながら曲を聴き、リズムに合わせて踊る姿が見られました。すると、「私も一緒にしたいな」「ぼくも如意棒取ってこよう」と遊びの場が広がっていきました。

「次は、丸くなって歩こう」「座って、如意棒を真ん中に集めて」「せーの、で上げよう」「回ってみようよ。丸くなったままで」と考えを伝え合い、同じ目的に向かって遊びを進めていました。

### 子どもの育ちや学び

・自分で考えたことを言葉や身体で表現したり、友達の意見に共感したりしながら、みんなで表現する過程を楽しみ、一体感を味わう。

・遊びの中で、『そんごくう』のお話の世界を楽しみ、イメージしたことを実現したり自分たちで目的意識をもったりして、遊びを展開する。

### 保育者の思い

・子どもたちの主体性を大切にし、如意棒をつくりたいという思いを実現してほしい。

・自分の考えたアイデアを友達に分かるように伝えようとし、意見を出し合いながら、遊びを進めてほしい。

・友達の動きや表現を認めながら遊びを進める楽しさを味わい、目的をもって取り組む姿を見守りたい。

### 家庭だったら・・・

・子どもが自分で選んで行動する経験を積み重ねていくことが主体性を育むことにつながると思います。家庭でも、日々の会話の中で子どもが選択できる環境はとていいことだと思います。

・子どもたちが挑戦してみたい、好きなことや得意なことを見つけた時にはチャレンジする姿を温かく見守り応援してあげてくださいね。